



responアプリとresponシステム（旧出席機能）の違い

manabaの出席カードを提出する方法には以下の2通りの方法があります。

- responアプリ（推奨）
- responシステム（旧名称：出席機能）

それぞれの機能については以下の通りです。

responアプリ

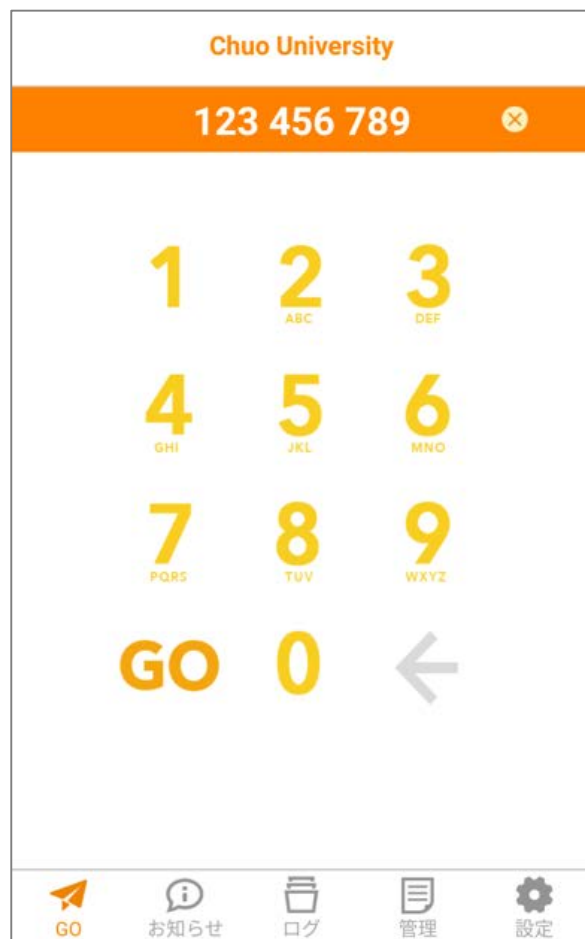
スマートフォンアプリです。インストール方法と初期設定方法は以下を参照してください。

[http://www2.chuo-u.ac.jp/com/manaba/respon App_howtsetup.pdf](http://www2.chuo-u.ac.jp/com/manaba/respon_App_howtsetup.pdf)

responアプリの特徴

- 過去に提出した出席カードの履歴を確認する事ができます。
- アンケートやクリッカー形式を活用したアクティブラーニングの授業に参加できます。
- 電波の状態が悪く、出席カードが提出出来なかった時は授業後に再送してくれますが、提出時刻は最初に提出した時のタイムスタンプで提出してくれるので、遅刻扱いになる心配がありません。
- 集合判定で代返チェックをされる時、位置情報を提供するので出席していた証明となります。

①提出画面



②REPLAY画面



③提出履歴の確認



① 提出画面

アプリ起動直後、この画面になります。出席カード番号を入力し「GO」をタップすれば提出できます。

② REPLAY画面

アンケートやクリッカーを使ったカードを提出した場合、他の学生の意見を閲覧したり「★」をつけて評価する事ができます。

③ 提出履歴の確認

過去の授業で自分が提出した出席カードの履歴を確認する事ができます。

電波状態が悪いなどの理由で未提出（[NG]と表示されます）になっているカードがあれば、授業後でも「同期」をタップするだけで、最初に提出した時刻を反映した提出履歴が登録されます。

responシステム

manaba本体の一機能です。
カードの提出のみ出来ますが、制約が多々あります。

responシステムの特徴

- アプリのインストールができないガラケーやPCからも出席カードの提出ができます。
- 利用の度にmanabaにログインする手間がかかります。
- 電波の状態が悪く、出席カードが提出出来なかった時は、再提出をフォローする機能がないため、教員に直接申し出る等のやりとりが必要になります。
- 位置情報を送る事ができないので、出席簿には位置判定情報なしとして記録されます。
- 出席の履歴が残らない為、提出記録をとっておきたい場合は、画面のスクリーンショットを撮る等の工夫が必要です。
- アンケートやクリッカーで提出された他の学生の意見や集計グラフを閲覧したり、好ましい発言に評価を送るといった機能がありません。

